

平成27年度機能連携広域経営推進調査事業 成果報告書

新潟県 燕市

(目次)

1. 圏域の概要
2. 事業の目的
3. 事業の概要
 - (1) 人材の育成等
 - (2) 新規開業の促進
 - (3) 新分野への進出
4. 事業の取組体制
5. 今年度の取組事業について
6. 成果のまとめ
7. 翌年度の成果指標
8. 今後の取組にかかる将来計画

1. 圏域の概要

燕市及び弥彦村で形成する本圏域は、県のほぼ中央、新潟市と長岡市の間に位置しており、圏域の人口は9万人弱、面積は136.13km²である。

圏域の西には、標高634mの弥彦山を中心に小高い丘陵が日本海に迫り、中央部には、越後平野が広がり、南に信濃川から分かれる大河津分水路が流れ、南北には信濃川とその分流である中ノ口川、西川に沿って平坦な地形が形成されている。

産業面では、広大な越後平野の地勢と恵まれた水利を生かした米づくりを中心とした農業が盛んであるとともに、全国有数の地場産業のまちとして、生活用品から産業機械等に至る金属加工産業をはじめとする高品質で魅力ある製品を数々生み出しているものづくりの地域としても有名である。

また、良寛ゆかりの地である国上山、日本さくら名所100選にも選ばれた大河津分水、万葉の昔から“おやひこさま”の愛称で広く崇拝されている越後一の宮の彌彦神社、参拝客を泊める宿場街として古くから栄える弥彦温泉などを有する歴史と自然が調和した圏域である。

交通面では、北陸自動車道や上越新幹線といった高速交通機関や主要国道116号、289号が整備されているほか、JR越後線、弥彦線が圏域を縦横に交差するなど交通の要衝となっている。

圏域を構成する燕市と弥彦村は、これまでも消防・救急・ごみ処理施設の運営などで連携した取り組みを進めてきており、通勤・通学、買い物、医療・福祉など日常生活の各分野において、行政区域を越えた生活圏としての結びつきが強い地域である。





2. 事業の目的

両市村の工業分野での主力産業は「金属製品製造業」であり、その中でも、製品の品質や付加価値を高める「金属研磨」は、重要な基盤技術の一つである。しかし、近年、高齢化による廃業等で職人・技術者の減少が進んでおり、金属加工産地の分業体制が崩壊しかねない状況にある。

金属加工産地の持続的発展のためには、「金属研磨」の技術継承を確実に行うとともに、廃業を補う以上の開業を促し、さらには、新たな分野への挑戦といった取り組みを行っていく必要がある。

そういった背景のもと、本事業は、「金属研磨業」に関する人材の育成、新規開業の促進、新分野への進出を図り、金属加工産地全体の活性化を目指すものである。

3. 事業の概要

(1) 人材の育成等

金属研磨の人材育成機関である「磨き屋一番館」*に『鏡面計』や『粗さ測定器』等を導入し、指導員の“感覚”や“カン”により指導している内容を数値化（見える化）することで、研修指導方法の充実を図る。

併せて、情報発信を積極的に行うことにより、「磨き屋一番館」への入校希望者の掘り起こしを行い、圏域内の職人や技術者の増加を図る。

(2) 新規開業の促進

分業体制が確立している当地において、金属研磨業は、小規模ではあるものの独立している事業者も多い。こういった特徴を活かし、「磨き屋一番館」の研修生に対し、技術の習得のみではなく、経営面などの基礎知識を習得する機会を設け、起業の促進を図る。

(3) 新分野への進出

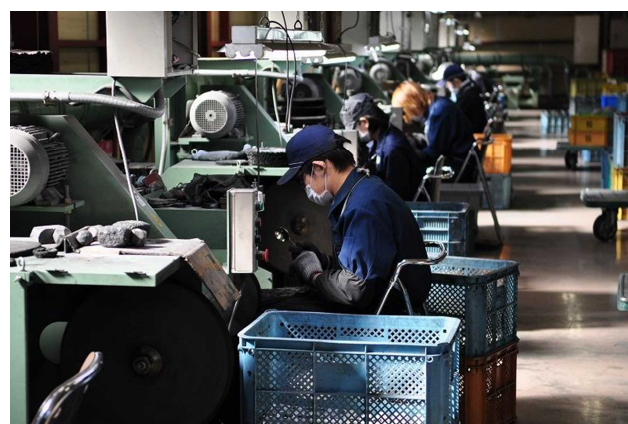
当地は、金属製の洋食器やハウスウェアなどの産地であり、金属研磨業もそれらの製品に関わるものが多いが、将来を見据えた場合、新たな分野に進出することは不可欠である。そのため、展示会への出展等により、金属研磨の技術力を発信するとともに、他分野の技術動向を情報収集し、新たな分野への進出の足がかりを作る。

また、「金属研磨」を『ものづくり』の一工程にとどめることなく、「金属研磨体験」という観光資源として捉え“磨き上げる”取り組みにも着手する。

具体的には、産業ツーリズムに取り組む先進事例の調査や、「磨き屋一番館」を紹介する映像の製作を燕市及び弥彦村の観光協会とも連携しながら進め、定住自立圏構想に基づく取り組みとの相乗効果を図るとともに、情報発信も行う。

※「磨き屋一番館」

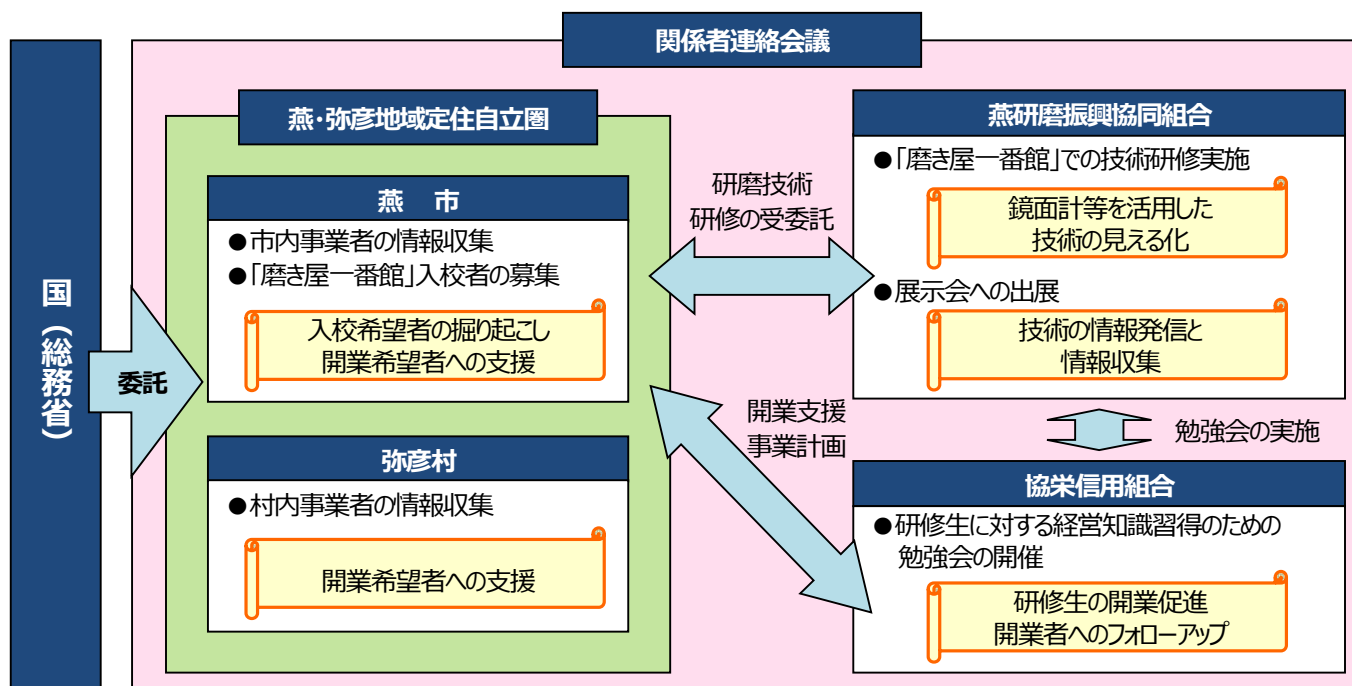
「金属加工産業の基盤技術である金属研磨業に携わる後継者育成、新規開業者の促進、技術の高度化による産地産業の振興及び体験学習による金属研磨技術の普及を図る」ことを目的に、平成19年に燕市が設立、燕研磨振興協同組合が運営。



4. 事業の取組体制

燕市が実施主体となり、ともに定住自立圏を形成している弥彦村、「磨き屋一番館」運営業務を委託している燕研磨振興協同組合、地元金融機関である協栄信用組合とが連携。市村域を超えた圏域において、産学金官民の幅広い関係者が連携し、「しごとの創生」に資する拠点等を構築することにより、人・モノ・金などの流れを生み出し圏域の活性化を図る事業を、他の地域の参考となり得るモデル事業として国（総務省）との委託契約に基づき実施した。

事業実施にあたっては、必要に応じ連絡会議を開催し、具体的な事業内容について協議検討するとともに、進捗状況や成果を確認した。



| 圏域市町村 | 圏域人口 (人) | 圏域面積 (km ²) | 事業額 |
|-------|----------|-------------------------|----------|
| 燕市 | 79,814 | 110.96 | 7,964 千円 |
| 弥彦村 | 8,212 | 25.17 | |
| 合計 | 88,026 | 136.13 | |

※人口：平成 27 年国勢調査

※面積：平成 27 年国土交通省国土地理院全国都道府県市区町村別面積調

5. 今年度の取組事業について

| 年月 実施内容 | 平成 27 年 | | | | | 平成 28 年 | | |
|------------------------|---|----------------|--|------|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
| 全体スケジュール | 8/19 契約締結 | | 10/7 第 1 回関係者 連絡会議 | | | | | 3/23 第 2 回関係者 連絡会議 報告書作成 |
| (1) 人材の 育成等 | ①鏡面計 などの 備品購入 | | 仕様の決定 | | 12/22 入札により 業者決定 | 2/29 までに順次納品 備品を活用した研修の実施 | | |
| | ②研修生の 募集 | 研修生募集 チラシ作成 | 9/12 地域 仕掛け入市 出展 | | 12/9 We b 更改 業者決定 | 施設パンフ、 募集チラシ 追加作成 | We b 更改 | |
| (2) 新規 開業の 促進 | ①研修生向け の経営知識 習得勉強会の 実施 | | | | 12/25 協栄信用組合 へ講師派遣 依頼 | 1/13 講師との 打合せ | | 3/3.10 研修生全員に 向けた 勉強会開催 |
| (3) 新分野 への 進出 | ①技術系、 旅行関係 展示会への 出展 (情報発信と 情報収集) | | 9/25～27 ツーリズム EXPO ジャパン 2015 出展 | | | 1/27～28 彩の国 ビジネスアリーナ 出展 | | |
| | ②磨き屋 一番館紹介 映像の作成 | | | | 12/1 業者決定 | 本編および 短縮版納品 | | |
| | ③先進事例 調査 | | | | | | 2/23～24 富山県高岡市 視察 | |
| | 金属研磨 体験の実施 | → | | | | | | |

(1) 人材の育成等

①研修内容の見える化

研修内容の充実を図るため、以下に定める備品を購入し、「磨き屋一番館」に設置。日常の技能研修指導に導入した。

○鏡面計

| 種別 | 符号・名称 | 仕様・付属品・他 | 数量 |
|-----|-----------------------|----------|----|
| 鏡面計 | アークハリマ(株) AHS-100S | | 1台 |

○表面粗さ計

| 種別 | 符号・名称 | 仕様・付属品・他 | 数量 |
|-------|-----------------------------|--|----|
| 表面粗さ計 | (株)ミットヨ SJ-310 (標準駆動) | 付属品：接続ケーブル・粗さ標準片・ACアダプタ・電源コード・ノーズピース（平面用・円筒用）・支持脚セット・校正用台・タッチペン・保護シート・記録紙・キャリングケース | 1台 |
| | 測定範囲 | X軸：16.0mm 検出部範囲：360μm（-200μm～+160μm） | |
| | 測定速度 | 測定時：0.25mm/s, 0.5mm/s, 0.75mm/s リターン時：1mm/s | |
| | カスタマイズ | 表示、演算させたいパラメータを選択可能 | |
| | 保存機能 | 内蔵メモリ：測定条件（10件） | |
| | 電源 | 内蔵バッテリー（Ni-MH充電機）/ACアダプタ | |
| | 外観寸法 (W×D×H) | 演算表示部：275×109×198mm 駆動部：115×23×26.7mm | |
| | 質量 | 約1.8kg | |

○超音波厚さ計

| 種別 | 符号・名称 | 仕様・付属品・他 | 数量 |
|--------|--|-------------------|----|
| 超音波厚さ計 | GE センシング&インスペクション・テクノロジー(株) 本体：CL5-DR | | 1台 |
| | 測定範囲 | 0.13～500mm | |
| | 測定単位・分解能 | mm：0.001、0.01、0.1 | |
| | 音速 | 1000～19999m/s | |

| | | | |
|------|------------------|---|----|
| | 電源 | 単3型乾電池3本（アルカリ、ニッケル水素電池） またはリチウムイオンバッテリー | |
| | 重量 | 420g（バッテリー含む） | |
| ケーブル | C-604 | | 1本 |
| 測定子 | Alpha2DFR (CLF4) | 標準ディスプレイ 周波数 15MHz 接触面 7.6mm 測定範囲 0.18~25.4mm | 1個 |

○ケーブル内視鏡

| 種別 | 符号・名称 | 仕様・付属品・他 | 数量 |
|-------------|-------------------------------|--|----|
| ケーブル 内視鏡 | (株)佐藤商事 QV-MTC49721 (φ4.9) | 付属品：ケーブル、単三乾電池4個、 電池カバーの子ネジ、USBケーブル、 AVケーブル、SDカード4GB、キャリ ングケース、ハンドストラップ | 1式 |
| | モニター | 3.5インチ TFT カラー液晶、強化ガラ ス/約30万画素 | |
| | 表示解像度 | 320×240 | |
| | 保存 | SDカード（最大32GB） | |
| | 外部出力 | NTSC、PAL、ミニUSB端子、AV出力端 子 | |
| | 電源 | 単三乾電池4個 | |
| | 駆動時間 | 約4時間 | |
| | 記録形式 | 静止画：AVI（640×480） 動画：JPEG（640×480） | |

○USB接続マイクロスコープ

| 種別 | 符号・名称 | 仕様・付属品・他 | 数量 |
|-------------------|------------------------------|---|----|
| USB接続マイ クロスコープ | マイクロ・スクエア(株) DS-400C-1.4M | | 1台 |
| | カメラ | 145万画素デジタルCCD | |
| | PC環境 | OS Windows XP SP2, SP3 / Windows 2000 SP4 / windows7(32, 64bit) CPU Pentium2.0Ghz以上 メモリー 512MB以上 | |

| | | | |
|----------------------|-----------|-------------|-----|
| | レンズ | 0.7~4.5 ズーム | |
| オプション 拡散ドーム照 明 | IDD-KH80W | | 1 式 |

USB 接続マイクロスコープ

②研修希望者の増加のための情報発信

a) Web への掲載

金属研磨技術や施設・事業内容をわかりやすく紹介するため、磨き屋一番館の既存のホームページを大幅に更改した。

燕市磨き屋一番館 お問い合わせ
TEL 0256-61-6701

ホーム 燕市磨き屋一番館 事業案内 金属研磨の技術 商品一覧 お問い合わせ



技能研修事業



卓越した技術者が一人一人に3年をかけて、優れた研磨技術を丁寧に指導し伝承します。

開業支援事業



新規開業者に対する貸工場として、施設内に研磨機・集塵機が設置された「開業支援室」を3部屋用

体験学習事業



研磨技術への関心を深めてもらうため、小・中・高校生や一般の方を対象にした初心者向け研磨体験を

技能研修生募集



検索

燕市磨き屋一番館 お問い合わせ
TEL 0256-61-6701

ホーム 燕市磨き屋一番館 事業案内 金属研磨の技術 商品一覧 お問い合わせ

新着情報

HOME > 新着情報 > 新着情報 > 技能研修生の募集

技能研修生の募集

カテゴリ：新着情報

燕市磨き屋一番館では、金属研磨技術を学ぶ研修生を募集しています。高卒者から45歳くらいまでの方で、やる気があれば男女問わず歓迎します。ぜひ一人前の職人になって、ものづくりのまち燕市を支えてください！

平成28年度燕市磨き屋一番館技能研修生募集要項 

- ・製品によって加工技術や作業手順が異なるため、研修生はローテーションにより、多様な研磨技術を習得できるようになっています。
- ・成果品は製品として依頼先に納入され、工賃収入の一部は研修生に還元されるとともに、技能研修等の各種事業や施設管理、機器購入費用等に活用されています。

技能研修生募集



検索

新着情報

- 技能研修生の募集
- 新しいパンフレットができました

b) 入校案内パンフレットの作成

施設紹介リーフレット並びに研修生募集チラシを作成した。

施設紹介リーフレット

お電話にて日時・人数などをご相談ください。
【見学体験予約】
http://www.tsukubamikenma.com/
TEL 0256-61-6701 FAX 0256-61-6751
〒959-1276 茨城県燕市小池363番地7
三美10号B棟10号

燕市磨き屋一番館
MIGAKIYA
CHIBANKAN

「燕市磨き屋一番館」
部品のような大型なもの
お使い頂けるタンブラー
加工を行っています。
家で磨いた逸品です。

M-1 タンブラー S 24金仕上げ
ステンレス2重構造 (内層24金仕上げ)
320cc/100mm (高さ) 120mm (口径) ×52mm (下径)

M-1 タンブラー S ブランドタンブラー
ステンレス2重構造
320cc/100mm (高さ) 70mm (口径) ×52mm (下径)

M-1 タンブロー L 24金仕上げ
ステンレス3重構造
450cc/130mm (高さ) 100mm (口径) ×54mm (下径)

M-1 タンブロー
450cc/130mm

金属加工業を中心に約400年にも渡る
「ものづくり」のまち新潟県燕市。

燕市は、鍛造・圧延・プレス・研磨など、金属製品製造業の中心地として発展を続けてきました。しかし、近年ではアジア諸国などの激しい競争を余儀なくされ、基盤技術である金属研磨の事業所、従業員数が著しく減少。このままでは金属加工集積地そのものが縮小し、産地が衰退しかねない状況にあります。

そのため、燕市では、金属加工産業の基盤技術である金属研磨業に携わる後継者の育成、新規開業者の促進、技術の高度化による産地産業の振興および体験学習による金属研磨技術の普及を図ることを目的に「燕市磨き屋一番館」を建設しました。運営事業は燕研磨振興協同組合に委託されており、卓越した技術者が研修生の指導に当たっています。

技能 優れた研磨技術の伝承

「にいがた県央マスター」が一人一人に3年をかけて、優れた研磨技術を丁寧に指導し伝承します。

【にいがた県央マスター】
日々受け継がれてきた高度な技術・技能を継持し、後継者を育成する事を目的に創設されました。新潟県三条地域振興局が認定します。

支援 新規開業を支援

新規開業者に対する貸工場として、施設内に研磨機・集塵機が設置された「開業支援室」を3部屋用意しています。

- ・技術研修終了者や研磨技能の取得者のうち、金属研磨業の開業を目指す方が対象。
- ・1部屋の料金については、お問い合わせください。

体験 ものづくり現場を知る

研磨技術への関心を深めてもらうため、小・中・高校生や一般の方を対象にした初心者向け体験講座を開催しています。

- ・スプーン磨き体験(小人用) 800円
- ・ピアカップ磨き体験(大人用) 1,500円

※燕市内の小・中学生は、スプーン磨き体験無料。

求む！研磨職人

燕市磨き屋一番館

技能研修生を募集

燕市磨き屋一番館では、
金属研磨技術を学ぶ研修生を募集します。
高卒者から45歳くらいまでの方で、
やる気があれば男女問わず歓迎します。
ぜひ一人前の職人になって、
ものづくりのまち燕市を支えてください！



燕市磨き屋一番館とは



多種多様な金属製品を作るうえで、モノの善し悪しを決める大切な最終工程「金属研磨業」に携わる後継者を育成する施設です。

研磨技術を3年間丁寧に指導し、開業・就職を支援しています。開業したいけど機械設備や部屋がないという方へ、研磨機や集塵機が設置された部屋の貸出をするなどフォローアップ体制も万全です。研磨技術のすばらしさを広めるために、スプーンやピアカップなどの磨き体験も行っています。

燕市磨き屋一番館

〒959-1276 新潟県燕市小池3633番地7 <http://www.tsubamekenma.com/>
TEL 0256-61-6701 FAX 0256-61-6751



研修内容と作業手順の確認
作業の注意点・段取りの周知

- 8:45 研 磨 実 習
 - ・指導員による個別指導
 - ・実習内容によってローテーション
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 研 磨 実 習
 - ・指導員による個別指導
 - ・実習内容によってローテーション
- 15:00 休 憩
- 15:15 研 磨 実 習
 - ・指導員による個別指導
 - ・実習内容によってローテーション
 - ・必要に応じて講義や意見交換など
(バフ研磨の基本・応用、技能研修への要望や意見など)
- 17:45 研磨機等の清掃
 - ・使用機器関係
 - ・施設全体
 - ・ロッカーや私物の整理



研修期間 / 4月1日からの3か年度

奨学金 / 研修生は、月15万円の奨学金を受けながら技術を習得することができます。

※詳しくは、燕市のホームページをご覧ください。

<http://www.city.tsubame.niigata.jp/>

問い合わせ先

燕市商工観光部商工振興課 TEL 0256-77-8231
〒959-0295 燕市吉田西太田1934番地
E-mail/shoko@city.tsubame.niigata.jp

燕市磨き屋一番館 TEL 0256-61-6701

〒959-1276 燕市小池3633番地7
<http://www.tsubamekenma.com/> (燕研磨振興協同組合ホームページ)



c) 情報発信

9月12日(土)、ビックサイトTFTホールにおいて開催された、都市部で働く若手UIJターン人材の大規模発掘イベントである「地域仕掛け人市」に出展。作成したリーフレットおよびチラシを活用し、磨き屋一番館のPRおよび入校希望者の掘り起こしを行った。

平成27年9月12日(土) 地域仕掛け人市



(2) 新規開業の促進

①研修生向けの経営知識習得勉強会の実施

地元金融機関である協栄信用組合との連携により、平成28年3月3日(木)と10日(木)の2日間、午前10時～12時の2時間で、「磨き屋一番館」の技能研修生9名を対象に、開業等に向けて必要な資金計画や金融経済の基礎知識などの習得を目的とした講習会を開催した。

平成28年3月3日(木) 「利益ってなんだろう？」



【当日の資料】

【経営知識習得講習会】 利益ってなんだろう？



地域創造カンパニー
グローバルマーケティング株式会社

代表取締役 今井 進太郎

◆決算書とは？



<決算書の関係>

| 目的 | 使用する数値 | 決算書の名称 |
|-------------|----------|--------|
| 財政状態を明らかにする | ストック(時点) | 貸借対照表 |
| 経営成績を明らかにする | フロー(期間) | 損益計算書 |

<複式簿記の5要素>

| 5要素 | 説明 | 決算書の構成 |
|---------|--------------------------|--------|
| 資産 | 現金、預貯金、商品、土地や建物等の不動産等の財産 | 貸借対照表 |
| 負債 | 買掛金、未払金、借入金といった債務 | |
| 純資産(資本) | 個人事業主や株主が拠出した元手 | 損益計算書 |
| 収益 | 売上、預貯金利息、資産売却益等の利益を増やす項目 | |
| 費用 | 売上原価、支払利息、経費等の利益を減少させる項目 | |

1

GLOCAL Marketing Confidential

◆損益計算書を理解する



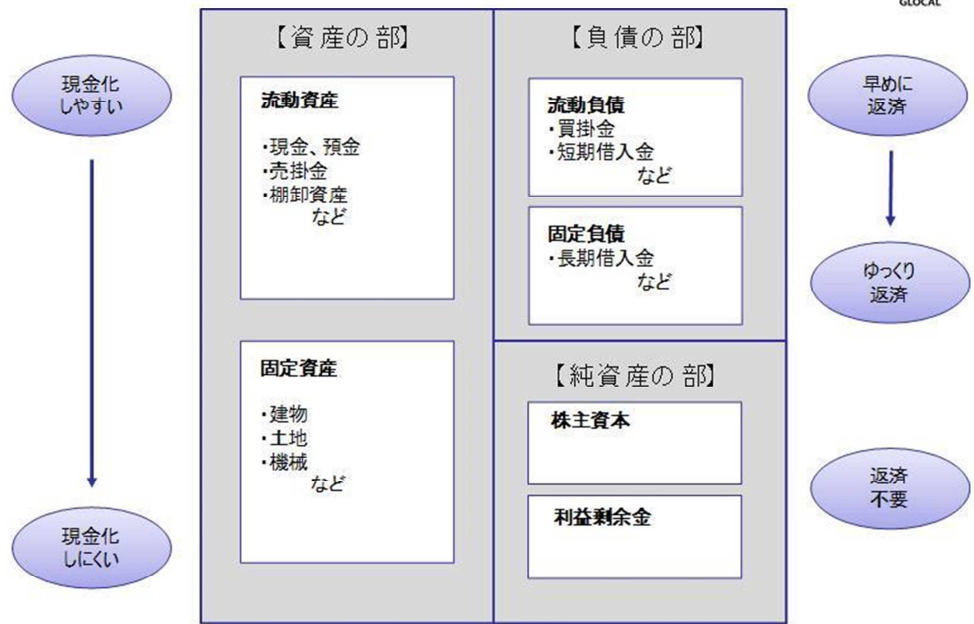
<単位:円>

| | | |
|-------------|--|------------|
| 売上高 | | 17,000,000 |
| 売上原価 | | 10,000,000 |
| 売上総利益 | | 7,000,000 |
| 販売費および一般管理費 | | 6,000,000 |
| 営業利益 | | 1,000,000 |
| 営業外収益 | | 2,500,000 |
| 営業外費用 | | 500,000 |
| 経常利益 | | 3,000,000 |
| 特別利益 | | 1,000,000 |
| 特別損失 | | 500,000 |
| 当期利益 | | 3,500,000 |

2

GLOCAL Marketing Confidential

◆貸借対照表を理解する



◆貸借対照表と損益計算書の関係



前期貸借対照表

当期損益計算書

当期貸借対照表

| | |
|------|----|
| 費用 | 収益 |
| 当期利益 | |

◆どうすれば利益は増える？



利益とは？

どうすれば利益は増える？

◆どうすれば資産は増える？





●今日の学び、気づきをメモしましょう。

●今日の学びや気づきを活かして、今後どのように行動していきますか？

平成28年3月10日（木） 「チームワークとコミュニケーションの大切さ」



【当日の資料】

【経営知識習得講習会】

チームワークと コミュニケーションの大切さ



地域創造カンパニー
グローバルマーケティング株式会社

代表取締役 今井 進太郎



『経営とは、「平凡な人間」が集まり、目的を共有した
チームワークで「非凡な成果」を導くシステムである。』
ピーター・F・ドラッカー

『暗いと不平を言うよりも、自ら進んで明かりを灯しなさい。
誰かがやるだろうということは、
誰もやらないということを知りなさい。』
マザー・テレサ

1

GLOCAL Marketing Confidential

◆ 最も重要な考え方



主体性を発揮する

●明日からどのようなことに、あなたの主体性を発揮しますか？

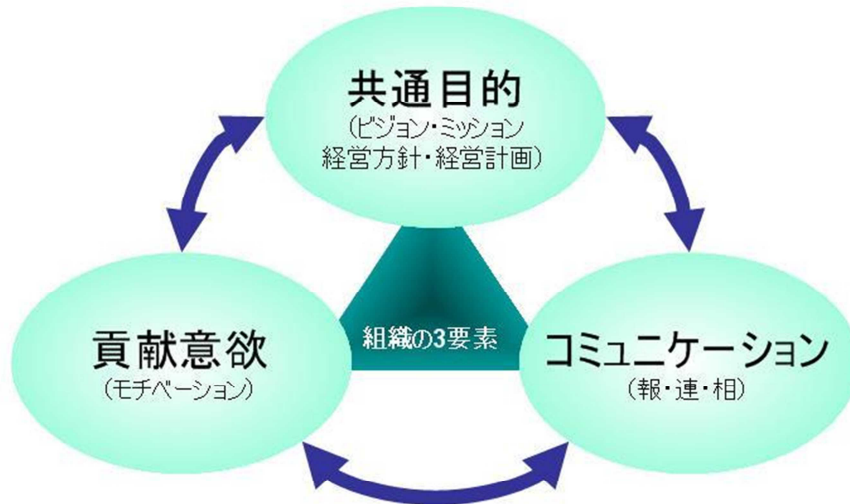
2

GLOCAL Marketing Confidential

◆ 組織とは・・・



「組織」と「群集」の違いは、組織構成要素の理解と実践にある！



3

GLOCAL Marketing Confidential

◆ 共通目的



ミッション・ステートメント

●あなたのミッションは何ですか？ 組織のミッション・ステートメントは何ですか？

●上記を踏まえて、明日からどのように行動しますか？

4

GLOCAL Marketing Confidential



「役割」が組織を変える

●あなたは組織においてどのような役割を果たしますか？

●上記を踏まえて、明日からどのように行動しますか？



賞賛し合う風土

●賞賛し合う風土を作るために、あなたは何かができますか？また、組織としてどのようなことに取り組みますか？

●上記を踏まえて、明日からどのように行動しますか？

「聞く」から「聴く」へ

- 「聴く」を実践してみよう！

- 上記を踏まえて、明日からどのように行動しますか？

理解してから理解される

- あなたが今一番理解してもらいたい相手は誰ですか？

- あなたは、あなたが今一番理解してもらいたい相手をどれだけ理解していますか？



信頼残高

● 仕事で信頼残高を増やすために、どのように行動しますか？



セルフイメージ

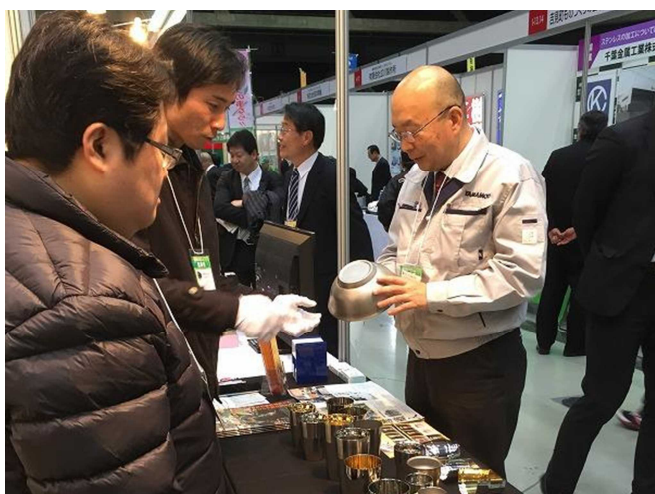
● あなたが理想とする自分は、どのような自分ですか？

(3) 新分野への進出

①技術系、旅行関係展示会への出展

金属研磨の技術力の発信と情報収集により、新たな分野への進出の足がかりを作るため、技術系展示会として、1月27日（水）～28日（木）にさいたまスーパーアリーナで開催された「彩の国ビジネスアリーナ」に出展した。

平成28年1月27日（水）～28日（木） 彩の国ビジネスアリーナ



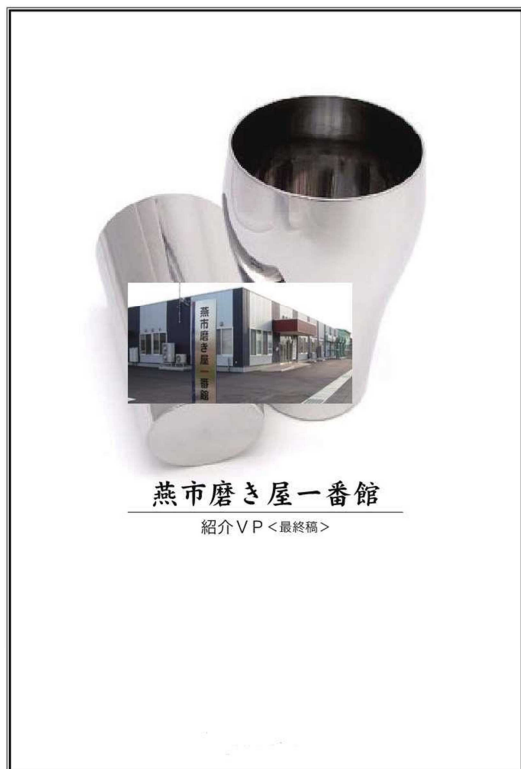
金属研磨体験を観光資源として磨き上げ、産業ツーリズムの拡充を図るため、旅行関係展示会として、9月25日（金）～27日（日）に東京ビックサイトで開催された「ツーリズムEXPOジャパン2015」に出展した。

平成27年9月25日（金）～27日（日） ツーリズムEXPOジャパン2015



②磨き屋一番館紹介映像の作成

燕市・弥彦村の紹介をはじめ、磨き屋一番館設立の経緯、金属研磨技術の紹介、施設全体や事業内容（技能研修、開業支援、体験学習）の説明、指導員や研修生へのインタビューなどの内容を盛り込んだ紹介映像を作成した。



■フロローグ

導入として、
燕市・弥彦村 映像を紹介。

■地場産業の歴史

*「和釘」写真

*銅器、キセル、ヤスリ、矢立

*洋食器・ハウスウェア

研修イメージカット

磨き屋の技を継承する

BGM ~~~~~

新潟県燕市・弥彦村。

その地で江戸時代初期の頃から
農業の副業として始められた和釘づくり。

その技は、銅器やキセル、ヤスリ、
そして矢立の製造技術として伝えられ、
優れた技と創造性あふれる製品が
数多く産み出されてきました。

「江戸時代の匠たち」の技は、
時代の流れを確実に積みながら
現在では金属洋食器・金属ハウスウェアに
生かされ、世界に認められる産地となりました。

金属加工産業を支えているものが、「磨き」。

その金属製品の仕上げの要となる「磨き」の技術を
継承するために設立されたのが……………
ここ「燕市磨き屋一番館」。

タイトル

磨き屋一番館
Migakiya Ichubankan

■事業概要～趣旨
外観～研修作業

■事業概要～施設
内観全容イメージに
概要テロップ

敷地面積は約1,583平米で、
延べ床面積は732平米。

施設内には、
研修生が実際に作業を行いながら研修や指導を受ける
「技術訓練室」。

新規開業を目指す人々を対象とする
「開業支援室」などを配置し、
金属研磨技術の普及に努めている。

BGM ~~~~~

「燕市磨き屋一番館」は、
金属加工産業の日本有数の集積地と言われる燕市が、
金属研磨技術の普及を図ることを目的に建設・運営。

金属加工産業の基盤技術とも言えるのが
金属研磨技術だが高齢化により職人は年々急速に減少。
ここ数年は、研修職人が足りないという状況が
大きな問題となっていた。

こうした状況に対応するため、
燕市では2007年に「燕市磨き屋一番館」を建設して、
金属研磨技術の次世代への継承に取り組み始めた。

敷地面積は約1,583平米で、
延べ床面積は732平米。

施設内には、
研修生が実際に作業を行いながら研修や指導を受ける
「技術訓練室」。

新規開業を目指す人々を対象とする
「開業支援室」などを配置し、
金属研磨技術の普及に努めている。

■事業概要～研修・支援

ナレーションに合わせて事業を紹介

技能研修事業
開業支援事業
体験学習事業

技能研修事業
開業支援事業
体験学習事業

（※体験学習風船）

技能研修事業
開業支援事業
体験学習事業

研修生たちの研修風景
と高橋氏による指導風景

「燕市磨き屋一番館」の事業には大きく分けて
3つの事業がある。

後継者や就職、開業を目指す人などの研修生に
奨学金を支払いながら
3年間技術を学んでもらう「技能研修事業」。

技能研修の修了者や技能取得者のうち、
開業を目指す人を対象にした貸し工場とする
「開業支援事業」。

研磨技術への関心を深めてもらうため、
小・中・高校生や一般の人を対象にした
初心者向けの体験講座を開催する「体験学習事業」。

「技能研修事業」では、
「磨き屋」を目指す研修生が、県内外から集まり、
現在10代から40代までの男女9人が学んでいる。

■マスター高橋千春氏インタビュー

◇インタビュー内容
(高橋様からぜひ伝えておきたいことがあれば教えてください)
・一番館設立の経緯
・研修内容
・研修生へ望むこと など



(※奥のマスター説明アロップ)

■一番館の技術力・製品



磨き屋一番館の技術力



チタン、アルミ、真鍮などの製品数種

技術指導の中心となるのは、
県から認定された卓越した技能を有する
「にいがた県央マスター」、高橋千春氏。

(インタビューを受けて)

研修生には「技術を覚えるだけでは駄目。
挨拶と会話、基礎になるのはお互いの信頼関係が重要」
ということを日頃から話し、
技術だけではなく、マスターの心も受け継ぐ、
そんな「磨き屋」が
一人でも多く誕生することに力を注いでいる。

そこには「燕を衰退させたくない、
次代を担う人材の育成に貢献したい」との
強い思いがある。

燕市磨き屋一番館は、単に技術研修するだけではなく、
実際に企業から受注した製品を仕上げながら、
開業に向けての事業運営方法も学んでいる。

アップル製品を磨いていたことは有名で、
iPodの鏡面加工によって一躍、
燕市磨き屋一番館の「磨き」の技術の高さが
世界に注目される存在となった。

航空機の翼の先端部分を研磨する仕事もある。
鏡面加工によって
空気抵抗を大幅に少なくすることが可能になり、
飛行精度を上げている。

磨きのその多くがステンレス製だが、
チタン、アルミ、真鍮など、
金属全般の研磨にも対応している。

■オリジナル商品



(※ビール注ぎカット)



■在校生インタビュー

◇インタビュー内容

(以下のことをお聞きします)

- ・なぜ一番館に入ったのか
- ・研磨技術の楽しさ、難しさなど
- ・就職率の高さ
- ・将来への展望

■エピソード



また、研修題材のひとつとして、
オリジナル商品も開発されている。

生産が追いつかないほど人気の
ピアマグ・ピアカップ類は、
こだわり抜いた研磨技術を活かし、
ビール系飲料を注ぐと
キメ細かいクリーミーな泡が立つのが最大の特徴。

燕市磨き屋一番館では、
平成22年に第1期の卒業生6人を輩出してから、
自主開業や企業への就職など、
これまでに20人の研修職人を送り出している。

*インタビュー2名
研修1年 女性
研修3年 男性

代々受け継がれてきた高度な技術・技能を維持しつつ、
後継者を育成することを目的に創設された、
「燕市磨き屋一番館」。

「モノづくり」の実績を経て発展してきた
技術を絶やすことなく、
磨きの技を継承してゆきます。

③先進事例調査

2月23日(火)～24日(水)、燕市・弥彦村職員6名で、富山県高岡市への先進地視察を行った。

平成28年2月23日(火)

高岡着 漆器くにもと



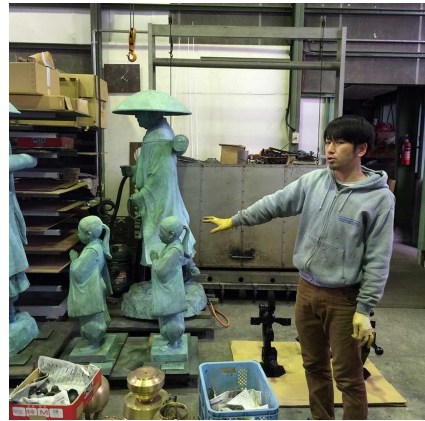
武蔵川工房



富山大学芸術文化学部卒業制作展



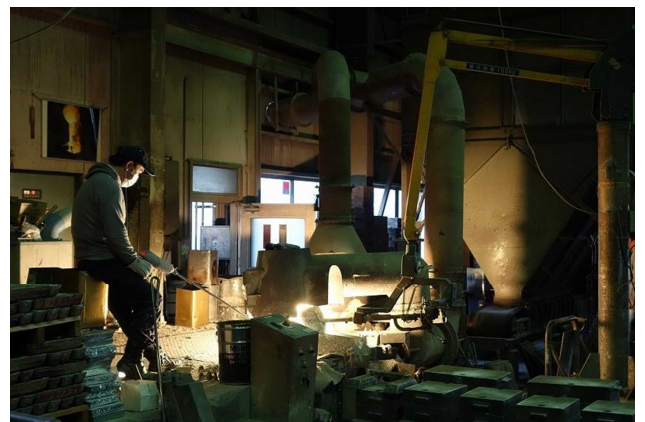
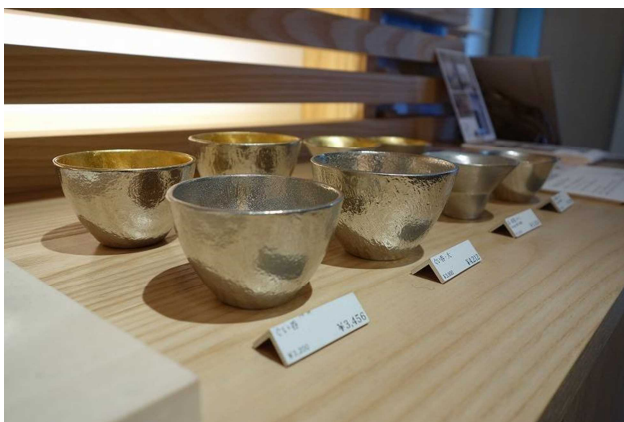
モメンタムファクトリーオリイ



京田仏壇店



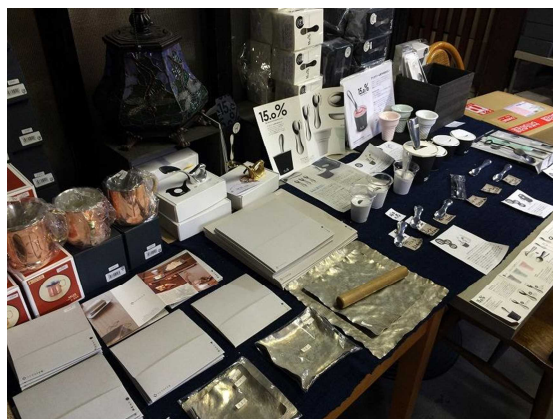
平成28年2月24日(水)
能作



嶋モデリング



大寺幸八郎商店



6. 成果のまとめ

(1) 人材の育成等

① 研修内容の見える化

鏡面計、表面粗さ計を活用することにより、これまで目視や感覚だけで判断していた研磨面の鏡面度や表面粗さの違いを数値化（見える化）することができ、技能の向上度を数値で確認することができるようになった。また、超音波厚さ計、USB 接続マイクロスコープを活用することにより、肉眼では判断しにくい部材の厚さや、形状により目視困難な筒状部品の内側の状況などを確認することができるようになり、作業効率の向上に繋がった。

② 研修希望者の増加のための情報発信

a) Web への掲載

磨き屋一番館の既存のホームページを大幅に更改し、より多くの方から金属研

磨技術に興味を持ってもらえるよう、金属研磨技術や施設・事業内容をわかりやすく紹介する内容とした。また、これまで燕市のホームページにしか掲載していなかった技能研修生募集にかかる情報を、磨き屋一番館のホームページにも掲載することで、金属研磨技術の紹介から技能研修生募集までを一連の流れとしてサイト内で見せることができるようになり、ターゲットへ効果的に情報を届けることができるようになった。

なお、スマートフォン等からもアクセスしやすいよう、レスポンシブルデザインを採用している。

b) 入校案内パンフレットの作成

施設紹介リーフレットならびに研修生募集チラシを作成し、磨き屋一番館を訪れる視察者へ直接配布するとともに、UIJ ターン希望者向けのイベントや技術系、旅行関係展示会などで配布した。

また磨き屋一番館は、毎年10月に開催され、首都圏をはじめ県内外から約2万人の来場者が集まる「燕三条工場の祭典」というオープンファクトリーイベントにも参加している。イベントにおいても本事業で作成したチラシを配布することができた。

金属研磨技術や施設・事業内容を効果的に紹介し、新たな入校希望者の掘り起こしに繋げることができたと考えている。

c) 情報発信

都市部で働く若手UIJ ターン人材の大規模発掘イベントである「地域仕掛け人市」に出展した。作成したリーフレットおよびチラシを活用し、圏域のPR、磨き屋一番館の紹介ならびに入校希望者の掘り起こしを行った。

田舎暮らしをアピールする地方都市がほとんどの中、圏域の基幹産業である金属加工産業の担い手を求める形での出展は、他の出展者との差別化を図ることができ、当ブースを訪れた数多くの来場者のうち、約50人に直接説明することができた。

参加者：759人（社会人84%、学生16%）

出展者：52ブース、49地域

(2) 新規開業の促進

①研修生向けの経営知識習得勉強会の実施

勉強会実施にあたっては、研修生は、日頃研磨機としか向き合っていないため、講師と協議し、事例を交えたわかりやすい内容にするよう心がけた。

1回目は、「利益ってなんだろう？」と題し、利益の出る仕組みや損益構造について

の基礎的な講義を実施。また2回目は、「チームワーク、コミュニケーションの大切さ」と題し、社会人として必要不可欠な組織論についての講義を実施した。研修生は熱心にメモをとりながら講義を受けており、将来を考えるうえでの大きな刺激になったのではないかと考えている。

(3) 新分野への進出

①技術系、旅行関係展示会への出展

技術系展示会「彩の国ビジネスアリーナ」では、磨き屋一番館で研磨しているオリジナル製品を展示し、卓越した技術をもつ職人の指導を受けた研修生の腕を披露するとともに、作成したリーフレットおよびチラシを活用し、磨き屋一番館のPRおよび入校希望者の掘り起こしを行った。当日は研修生も交替でブースに立ち、来場者へ研磨の技術を説明した。日頃エンドユーザーと接点のない研修生にとって、ユーザーの反応や感想を直接聴くことができる貴重な機会にもなった。

旅行関係展示会「ツーリズムEXPOジャパン2015」では、燕市、弥彦村、燕市観光協会、弥彦観光協会が共同で新潟県ブースに出展し、燕市の観光商品、弥彦温泉のPRを行った。来場者との交流を通じ、燕・弥彦地域への観光客の誘致については、従来の団体観光客をターゲットにした観光名所、旧跡、食事、土産物などを組み合わせた総合的な観光ルートの他に、工場見学や産業体験などジャンルを絞った観光ルートの企画とPRも必要であると感じた。金属研磨体験を観光資源としてさらに磨き上げ、同圏域の産業ツーリズムの拡充を図っていきたい。

②磨き屋一番館紹介映像の作成

映像には、燕市・弥彦村の紹介をはじめ、磨き屋一番館設立の経緯、金属研磨技術の紹介、施設全体や事業内容（技能研修、開業支援、体験学習）の説明、指導員や研修生へのインタビューなどの内容を盛り込んだ。

作成した映像は、産業観光や行政視察等で施設を訪れる見学者に対し放映するとともに、展示会等において来場者向けに放映することで、市村域を超えた圏域における金属加工産業の基盤技術である金属研磨技術の普及を図るための有効なツールとして活用することができた。さらなる普及を図るため、近日中に映像をYoutubeへも投稿する予定である。

③先進事例調査

高岡市はものづくりのまちであり、職人によって支えられている。市内企業は、元気のあるところとそうでないところに大きく分かれているのが現状で、後継者不足が大きな問題となっており、なくなってしまう技術もある。この点では燕市と類似している。しかし大きく異なるのは、行政と民間の温度と、若者の活躍の2点であると感

じた。

高岡市では毎年10月、伝統産業に携わる工房を巡る「高岡クラフツーリスモ」が開催されている。この取組は、銅器・漆器などの伝統工芸に従事する青年団体「高岡伝統産業青年会」が中心となっている。彼らは職人であって、産業の振興自体が直接の仕事ではない。伝統産業青年会のメンバーと情報交換をする中で、「クラフツーリズムをはじめとする伝統産業青年会の活動は、参加してくれた人全員を高岡市のファンにすることを目的としている。そのためどんなに申し込みが多かったとしても45人の定員を増やすつもりはない。そうしたイベントごとよりも普段の仕事を見てほしい。」と語っていた。

また、彼らは富山大学芸術文化学部のサークル「クリエイ党」と共同で製品を作るという活動も行っている。そのサークルの学生たちに実際に話を聞いてみたが、富山県外出身の学生が多いながら、高岡のものづくりに深い敬意を抱いているのが伝わってきた。

仕事現場を公開してもものづくりの魅力を伝えるイベントは全国各地で行われている。他のイベントとの差別化を図り、次につながる仕組みを構築していくためには、来場者を楽しませるというイベント単体、単年といった短期的視点ではなく、日頃からのコミュニティづくりをはじめとした、長期的な視点が重要であると感じた。

7. 翌年度の成果指標

| 指標 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度目標 |
|--------|----------|----------|----------|
| 研修生数 | 8人 | 9人 | 10人 |
| 視察件数 | 266件 | 221件 | 270件 |
| 視察者数 | 2,672人 | 2,377人 | 2,500人 |
| 研磨体験件数 | 121件 | 132件 | 150件 |
| 研磨体験者数 | 1,300人 | 1,474人 | 1,500人 |

8. 今後の取組に係る将来計画

今回導入した鏡面計等の備品は、磨き屋一番館に設置し、燕研磨振興協同組合による研修生への技術指導の際に活用していく。また、作成した磨き屋一番館紹介映像やリニューアルしたホームページによる金属研磨技術の普及および入校希望者の掘り起しにも引き続き取り組んでいく。

2回にわたり開催した経営知識習得勉強会は、これまで金属研磨技術しか学んでこなかった磨き屋一番館の研修生が、社会に出た時に最低限必要となる経済知識や組織論などを学ぶとても良い機会となった。この経験は、彼らのこれからの成長に大きく寄与するもの

と考えられる。当日の資料や映像は、今後新たに入校する研修生に対しても活用していきたい。なお、本勉強会をコーディネートした地元金融機関である協栄信用組合は、新規創業希望者を対象とした「創業講座」を来年度燕市と共催で実施する予定である。磨き屋一番館の3年間の研修を終える卒業生に対しても同講座や創業支援に関する事業を周知し、開業促進に努めていきたい。

産業観光の面では、旅行関係展示会出展や先進地視察で得た知見を踏まえると、磨き屋一番館を拠点とし、他企業の工場見学や体験、自然豊かな観光資源などを組み合わせるなど、圏域全体のスケールメリットを活かすことで、「磨き」を魅力ある産業観光資源とすることができるであろうと類推する。しかし一方で、工場見学や体験学習には、十分な受け入れ体制の整備が必要である。磨き屋一番館は、当初の設立趣旨が産業観光受入施設ではないため、駐車場や対応人員の不足が大きな課題であると感じた。今年度の視察および体験受入れ件数をみても、昨年度並みの数値であったことからしても、燕市、弥彦村、燕市観光協会、弥彦観光協会、燕研磨振興協同組合のさらなる連携が必要不可欠である。

今後も、金属加工産業の基盤技術である金属研磨技術に対する「付加価値」を高め、新たな担い手の確保や新たなビジネス展開等を目指し、産・学・官・金が連携し、後継者の育成、新規開業者の促進、技術の高度化による産地産業の振興および体験学習による金属研磨技術の普及を継続して実施し、成果指標達成を目指していく。

| 平成 28 年度 | | | | |
|------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------|----------------------|
| (1) 人材の 育成等 | 備品を活用した研修の実施 | | | |
| | 9月 地域仕掛け人市出展 | | | |
| | 磨き屋一番館 Web サイト運用 | | | |
| (2) 新規 開業の 促進 | 6月 創業講座開催 | | | 3月 研修生向け 勉強会開催 |
| (3) 新分野 への 進出 | 9/22～25 ツリズム EXPO ジャパン 2016 出展 | | 1月 彩の国ビジネスアリーナ 出展 | |
| | 磨き屋一番館紹介映像活用 | | | |
| | 金属研磨体験の実施 | | | |